

ヨセフの生涯において見られる、
円熟した命の、王として支配する面

聖書：創 41:39-44, 51-52. 45:5-8. 47:14-23. 50:15-21

- I. 霊的な経験によれば、ヤコブとヨセフは一人の人です。ヨセフは、円熟したイスラエルの、王として支配する面、ヤコブの円熟した性質におけるキリストの構成を表します。完全な方であるキリストで構成された円熟した聖徒として、ヤコブはヨセフを通して王として支配しました—創 41:39-44. ヘブル 6:1 前半. ガラテヤ 6:8. 5:22-23 :
- A. ヨセフによって予表される、王として支配する面は、わたしたちの存在の中へと構成されたキリストです—ガラテヤ 4:19。
- B. ヨセフ、すなわち「夢を語る者」(創 37:19) は、神の見方にしたがって、神の民が命に満ちた小麦の束であり、また光に満ちた天体であるという夢を見ました (5-11 節)。ヨセフの二つの夢は (7, 9 節)、いずれも神からであり、地上での神の民の性質、地位、機能、目標に関する神の神聖な見方を、彼に明らかにしました :
1. わたしたちは「神聖な望遠鏡」を用いて、時間を見通し、新エルサレムを見つめなければなりません。そこには命に満ちた束と、光に満ちた星のほかには何もありません。こういうわけで、円熟した命の、王として支配する面は、聖徒たちや召会について決して消極的に語りません—参照、創 38:27-30. マタイ 7:1-5. I ペテロ 3:8-9。
 2. ヨセフの夢は、彼の生涯を制御し、彼の振る舞いを導きました。ヨセフがとても卓越してすばらしく振る舞ったのは、彼が夢の中で見たビジョンによって導かれたからです (参照、使徒 26:19)。彼の兄弟たちは怒りを爆発させ (創 37:18-31)、情欲にふけりましたが (38:15-18)、ヨセフは怒りを服従させ、情欲を征服し (39:7-23)、命に満ちた束として振る舞い、暗やみの中で輝く天の星のように行動しました。
- C. 天のビジョンの下でのヨセフの生活は、マタイ第 5 章から第 7 章に記述されている天の王国の生活でした。彼はそのような生活をするによって、十分に用意されて、王として支配しました。マタイによる福音書のこれらの章に啓示されている天の王国の憲法によれば、わたしたちの怒りは服従させられなければならない、わたしたちの情欲は征服されなければならない (マタイ 5:21-32)。
- D. 円熟した命の、王として支配する面は、常に主の臨在を享受する生活です (使徒 7:9)。主の臨在のあるところにはどこでも、権威、統治する力があります (創 39:2-5, 21-23) :
1. 主の臨在の中で、ヨセフは主によって栄えました。ヨセフは虐待を受けていたとき、主の主権の下で彼に臨んだ主の繁栄を享受しました。

2. 主の臨在の中で、ヨセフはどこにいても主の祝福の恩恵を受けました。
ヨセフが繁栄を享受していたとき、彼と彼に関係していた者たちは祝福されました—創 39:4-5, 22-23。
- E. ヨセフ自身の夢はまだ成就されていませんでしたが、彼は信仰と大胆さを持って、獄にいる二人の仲間の夢を解き明かしました（創 40:8）。最終的に、ヨセフは間接的に、信仰によって語って給仕役の夢を解き明かすことを通して、獄から釈放されました（41:9-13）。そして彼は直接、大胆に語ってパロの夢を解き明かすことを通して、王座にもたられました（14-46 節）。釈放と権威が彼に臨んだのは、いずれも彼の語ることを通してでした：
1. アンドリュー・マーレーはかつてこのように言いました、「御言の良い奉仕者は、自分が経験した以上のことを常に供給すべきです」。これは、わたしたちがビジョンの成就にしたがって語るよりも、ビジョンにしたがってさらに多く語るべきであることを意味します。
 2. たとえわたしたちのビジョンが成就していなくても、わたしたちはなおもそのことについて人に語るべきです。わたしたちのビジョンが成就される時が来ます。ヨセフの夢は、彼が給仕役の夢を解き明かすことを通して、最終的に成就されました。
 3. わたしたちは自分の感覚にしたがって語るのではなく、天のビジョンにしたがって語るべきです。わたしたちは、神の永遠のエコノミーのビジョンを持つ者、先見者です。ですからわたしたちは、神のエコノミーの絶対的な真理にしたがって語るべきです—使徒 26:16-19。
- F. わたしたちがキリストを生かし出しているなら、わたしたちがどこにいても、命か死のどちらかをもたらしめます（Ⅱコリント 2:14-16）。ヨセフは、給仕役には復帰をもたらし、料理役には死刑をもたらしめました（創 41:12-13）。
- G. わたしたちが主を尋ね求めるなら、彼はわたしたちを「地下牢」の中へと入れるでしょう。地下牢がなければ、わたしたちは御座へと昇ることはできません。わたしたちは「地下牢の脱獄者」であってはなりません。わたしたちは卒業して冠を受けるまで、地下牢にとどまらなければなりません—エペソ 3:1, 4:1, ヤコブ 1:12。
- II. ヨセフは、実を結ぶ大きな若枝として（創 49:22）、枝としてのキリストを予表し（イザヤ 11:1-2）、彼の枝としての信者たちを通して（ヨハネ 15:1, 5）、神を枝出しします。創世記第 49 章 22 節において、水源（源泉）は、実を結ぶ源である神を表徴し（詩 36:9, エレミヤ 2:13）、枝が垣を越えることは、キリストの枝としての彼の信者たちが、あらゆる制限を超えてキリストを拡大し、あらゆる環境の中で彼を大きく表現することを表徴します（ピリピ 1:20, 4:22, プレモン 10 節）：
- A. ヨセフが座に着いたときに栄光と賜物を受けたことは（創 41:42）、キリストが昇天において栄光（ヘブル 2:9）と賜物（詩 68:18, 使徒 2:33）

を受けたことを予表します：

1. 指輪、衣、金の首飾りは、キリストが天に昇ったときに受けた賜物を描写します。彼はその賜物を召会に渡しました—42節：
 - a. 印章指輪は、キリストの信者たちの内側にある、また彼らの上にある証印としての聖霊を表徴します—使徒 2:33. エペソ 1:13. 4:30. 参照、ルカ 15:22。
 - b. 衣は、わたしたちの客観的な義としての、わたしたちが神の御前に義とされるためのキリストを表徴し（I コリント 1:30. 参照、詩 45:9, 13. ルカ 15:22）、またわたしたちから生かし出されるわたしたちの主観的な義としての、わたしたちが資格づけられて小羊の婚姻にあずかるようにするキリストを表徴します（ピリピ 3:9. 詩 45:14. 啓 19:7-9）。
 - c. 金の首飾りは、従順のために与えられる聖霊の美しさを表徴し、服従することにおいて表現されます（参照、使徒 5:32）。首飾りがかけられた首は、征服され服従して神の命令に従う意志を表徴します（創 41:42. 参照、雅 1:10. 箴 1:8-9）。
 2. 霊的な経験の順序によれば、わたしたちはまず救いのために、その霊の証印を受けます。次に、わたしたちは義の衣を受けて、キリストを生き始めます（ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:20-21 前半）。わたしたちがキリストを生きるために、わたしたちの首には首飾りがかけられなければならない、わたしたちの意志は聖霊によって征服され、服従させられなければなりません。
- B. ヨセフは、死の獄から復活させられて昇天の地位へともたらされた後、アセナテと結婚しました。アセナテが描写するのは、キリストがイスラエルの子たちによって拒絶された期間に、異邦人世界からめとられた召会です（創 41:45）。ヨセフは長子の名をマナセ（「忘れさせる」を意味する）と呼び、二番目の子の名をエフライム（「二倍実り多い」を意味する）と呼びました。ヨセフは次のように宣言しました、「神がわたしのすべての困難と、父の家のすべてを忘れさせてくださった」、「神がわたしの苦悩の地で、わたしを [二倍] 実り多い者としてくださった」（51-52 節）。
- III. ヨセフの生涯の記録は、その霊の統治を啓示しています。なぜなら、その霊の統治は、円熟した聖徒の、王として支配する面であるからです。その霊の統治（命の中で王として支配する生活、神の王国の実際における神聖な命の制限と拘束の下にいること）は、その霊の他のどの面よりも高いのです—ローマ 5:17, 21. 14:17-18. 参照、II コリント 3:17-18. II テモテ 4:22. 啓 4:1-3 :
- A. ヨセフは彼の兄弟たちに対して人の感情と情緒に満ちていましたが、自分自身と彼のすべての感覚をその霊の統治の下に保ちました。彼は、冷静に、知恵をもって、識別力をもって彼の兄弟たちを取り扱い、彼

らの必要にしたがって彼らを訓練し、彼らを成就し建造して、彼らを地上での神の証しとして共に生活する団体の民とならせました。ヨセフの物語において現された命は、復活の命、神の命です—創 42:9, 24. 43:30-31. 45:1-2, 24。

- B. ヨセフが神の制限の下で生活したことは、キリストの人の生活の描写であり、神聖な命の円熟と完全さを現し、神の王国をもたらしました—ヨハネ 5:19, 30 後半. 7:16, 18. 14:10. マタイ 8:9-10。
- C. ヨセフが彼の兄弟たちを取り扱ったことにおいて、わたしたちが見るのは、ヨセフが穏やかな生活、冷静な生活、識別力のある生活をして、兄弟たちを愛したということです。それは自己を否む生活であり、王国の生活を実行することです—創 45:24. マタイ 16:24. 歴代下 1:10. イザヤ 30:15 前半. ピリピ 1:9. I テモテ 5:1-2. I テサロニケ 3:12. 4:9. II テサロニケ 1:3. ローマ 12:10. I ヨハネ 4:9. ヘブル 13:1。
- D. 最も力のある人は、自分が行なうことのできる事を行なわない力を持っている人です。これが真に自己を否むことであり、真に十字架を負うことです—マタイ 16:24. 参照、26:53. II コリント 2:12-16。
- E. ヨセフは、自分をエジプトに遣わしたのは神であったことを認識しました。創世記第 50 章 20 節で、ヨセフは彼の兄弟たちに、「あなたがたは、わたしに対して悪を凶りましたが、神はそれを良きに凶ってくださり」と言いました (創 45:5, 7. 50:19-21. 参照、41:51-52)。これは、ローマ第 8 章 28 節から 29 節におけるパウロの言葉の実際です。ヨセフは、彼の兄弟たちが彼に行なったすべての事を神からのものとして受けました。またヨセフは、自分に罪を得た人たちを慰めました (創 45:5-8. 50:15-21)。彼は何という恵み、何という卓越した霊を持っていたことでしょうか！

IV. ヨセフは苦難を受け、自分自身を否んだので、命の供給の豊富を得ました (詩歌 465 番)。人々は、キリストの予表としてのヨセフから食物を受けるために、四種類の代価を払わなければなりませんでした。それは彼らの銀、彼らの家畜、彼らの土地、彼ら自身でした—創 47:14-23. 参照、啓 3:18 :

- A. 銀は便利さを表し、家畜は生活の手段を表徴し、土地は資源を表します。わたしたちは、分与する方である主から命の供給を受けようとするなら、わたしたちの便利さ、わたしたちの生計の手段、わたしたちの資源を彼にささげなければなりません。わたしたちは彼にささげればささげるほど、ますます彼から命の供給を受けます。
- B. 最終的に、わたしたちは主から最も良い分け前を、満足のための食物と、他の人たちのために何かを生み出す種を含めて受けるために (創 47:23)、わたしたち自身を、すなわち、わたしたちの存在のあらゆる部分を、彼に明け渡さなければなりません (レビ 1:4)。
- C. わたしたちは、わたしたちの存在のあらゆる部分を彼に明け渡すこと

によって最高の代価を払うとき、キリストに対する享受の最上の分け前を享受します。

- V. ヨセフに対する宇宙的な祝福は、新天新地における新エルサレムにおいて究極的に完成します。その中であらゆるものは新しく、キリストと彼の信者たちにとって祝福となります—創 49:25-26. 申 33:13-16. 啓 21:5 :
- A. 造り変えは、神聖な命の新しさをもって新陳代謝的に変えられることです。円熟は、わたしたちを変える神聖な命の新しさで満たされることです。祝福は、命があふれ流れることです。ヨセフを伴うヤコブの命の終局は祝福の命であり、これは彼の輝きの頂点でした—箴 4:18. ヘブル 11:21. 創 47:7. 48:15-16。
- B. 神だけが新しいのです。神から離れているものは何であれ古いのですが、神に戻るものは何であれ新しいのです (Ⅱコリント 5:17)。更新されることが意味するのは、神に戻り、神のものをわたしたちの中へと入れることです。それによってわたしたちは、からだの生活のために、神とミングリングされ、神と一になります (Ⅱコリント 4:16. ローマ 12:1-2)。
- C. 神をわたしたちの新しさの祝福として受ける秘訣は、あらゆるものを神にもたらし、神にあらゆるものの中へと入っていただくことです。ヨセフに対する宇宙的な祝福は、祝福が至る所にあることを意味します。わたしたちの賛美は、墮落ののろいのあらゆるものを祝福へと変えます—エペソ 5:20. I テサロニケ 5:16-18。